いまって設立されたものであ

七〇年の時代状況もあ

その後もこの地の活動家や

ます。カンパ送付先は二頁。 方に協力いただけるよう要請 ターは同地 (当時はジュネー

翻れば富士宮文献セン

の一環とすることが可能

面しています。

かどうか検討中です。そ

ほか様々な方法が可

ブ)を訪れ帰国した仲間の発

その危機を打開するための ば、 C I R A は 現 在 地 で ています。 センターから支援要請 のアナキズム国際文献 はスイス・ローザンヌ ター(CIRA-JAPANA) 支援キャンペーンを要請し の存続が危ぶまれており、 りました。それによれ のメッセージを受け取 ザンス)への支援を

私たちアナキズム文献セン 研究者は幾度にもわたりスイス CIRAを訪れています。 CIRAの支援要請にこたえ、 ささやかな形であっても連帯 の意志を表明するとともに支 こうした情勢に鑑み、スイス 援活動を行いたいと思いま す。七月には文献センター と他団体の共催でキネマ フェスタが予定されてお RA支援キャンペーン 現在このイベントをC

2007年4月18日 企画東京熱い夏 CIRAへの支援を主 な 内 容 収支決算報告書 富士宮だより 運営委員会議事録 文献センター自己紹介 6 5 4 3 1 8 6

第2号

文献センター

■CIRAよりの要請文

ど)といった貴重な記録物を所蔵

しています。

アナキスト運動の記憶を後世に受 Recherches sur l'Anarchisme R A 遡りますが、現在、思わぬ危機に直 CIRAの創設は50年以上も前に け継ぐことを使命としています。 膨大な文献を誇る研究施設であり、 アナキズム国際文献センター)は、 スイスのローザンヌにあるCI (Centre International de (一部省略しています)

研究者、そしてアナキズムに関心 た記録物を丁重に保存し、活動家 どを収集保存してきました。集め 世界中のアナキストによる文献な **CIRAについて** この 50 年間、

能と思いますが、多くの

の個人的なコレクション(手紙な 848年まで遡る)、映像、活動家 種類もの雑誌類(古いものでは1 点もの本やパンフレット類、 の様々な言語で記録された約2万 ように努めてきました。20以上も を抱くすべての人々が利用できる 何百

集と研究に明け暮れました。 ネーブにてCIRAを創設しまし がCIRAの始まりだと言われて 関誌「Le Reveil」(ルイジ・ベル トロ・フェルーアがアナキスト機 リア人の良心的兵役拒否者、 時ジュネーブに亡命していたイタ CIRAの歴史 スティン・ミカイロと記録物の収 命じられるまで、彼はマリー・クリ た。64年、フェルーアが国外退去を います。フェルーアはその後、ジュ る文献や記録などを集め始めたの トーニが編集者を務めた)に関す ーアの国外退去後、マリー・クリ 1957年、 ピエ フェ 当

4

ケルとともに運営を引き継ぎ、以 スティンは娘のマリアンヌ・エン

るまで17年間、杉林に囲まれた とです。マリーは寛容にも自身の ト運動の記憶を後世に受け継ぐこ 中立の立場を保ちながらアナキス にはびこる議論に巻き込まれず、 これまでCIRAを訪れてきまし 拡張し、何世代にも渡る訪問者が 続けています。 ーザンヌの美しい旧家にて存在 宅の一部を提供し、現在にいた CIRAの目的は創設当時よ 世界中のアナキスト組織の間 コレクションと人脈を大幅に

> 中のアナキスト同志のおかげです。 当センターに提供してくれる世界

ネット上からでも利用でき、年に 記録物を丁寧に整理・分類し、誰 キスト運動に関連する文献や画 しています。また、ローザンヌは もが利用できる環境を整えていま CIRAの活動 膨大なカタログはインター 映像などを収集し、それらの 活動をまとめた広報を発行 CIRAはアナ

どをも主催しています。 る参考資料を作成中です。 献目録やその他研究材料となり得 易にアクセスできるよう、 ムをテーマとした講演や展示会な もとより様々な地域にてアナキズ さらに容 所蔵文

に受け継ぐ重要性を常に認識しつ きた同志たちの貴重な言葉を後世 け、自由な世界を目指して闘って 文化的な多様性をもとに発展し続 ナキスト運動の政治的/社会的/ ています。当初よりCIRAはア スト同志からの寄付金により賄っ また、会員からの年会費やアナキ つ活動を続けています。

存続し得るためには、この土地の ンの自宅の一部で、 を置くのは、惜しくも2年前にこ CIRAの現状 世を去ったマリー・クリスティ CIRAが拠点 現在の土地で

> 時に、 境を保証し、活発な活動を可能に さざるをえず、存続が危ぶまれる を買い戻さなければなりません。 してくれる場所は非常に稀です。 ブラリーにとって必要な自由な環 小限にとどめることができると同 状況に追い込まれます。経費を最 なければなりません。 さもなけれ ス・フラン (一五〇〇万円) を集め 移すためには少なくとも15万スイ 土地と建物の所有権をCIRAに CIRAは余儀なく場所を移 特にアナキズム関連のライ

CIRAの運営

CIRA が存在

し得ているのは、多くの記録物を

とされています。アナキス 泉となる「想像力」 世界変革を目指す人々の源 得意とする「行動」、そして アナキスト協同組織などに 存続のために、世界中のア います。 ナキスト・コレクティブや 現状への対策 範囲に寄付を呼び掛けて アナキストが最も CIRAの が必要

> ちは期待し、信じています。 域で広範囲に、寄付金を集めるた め ト同志によって世界のあらゆる地 の自発的行動が起きるのを私た

相続権を主張する第三者より土地

ŋ 帯をより強固なものに、 テ 発なものに発展させることでもあ CIRAを囲むネットワークの連 の は無限にあります! IRAの存続のためにできること CIRAのためにできること ィヴによる寄付も大歓迎です。 、ます。勿論、個人や個々のコレク 目的は寄付金集めだけでなく、 今回の行動 そして活 С

スイス国外からの送金先:Banque

Coop, Basel/Bale/Basilea

郵便振替口座番号

310985.29.00.90-6, IBAN(国際銀行 口座番号) CH20 0844 0310 9852 9009 0 Swift COOPCH BB, Clearing 8448 (小切手は受け付けられません) CIRA-Swiss と明記してくださ

www.anarca-bolo.ch/ ciramail: cira(at)plusloin.org

・「東京行動戦線」一~五号

寄贈

唐沢隆三氏より

色紙=植村諦

九五七年一

- 号、

『夢』一~六号、 患英治)

(名古屋市

ノ伊

六月

『無風帯』

同

九 匹

八年

月

月

雄太気

〇月

上村健彦氏より 平井倭佐子氏より 由 平井征夫『バルセロナ日記』リ 一井格氏より ベーロイ社、二〇〇三年 寄書き葉書、

日本アナ連第一〇回全国大会 一九六〇年 『無風帯社ニュース』ー 風帯社(東京·新宿/西山

『無風帯』一号、 『無風帯社ニュース』二号、 郎)一九四六年七月 『水島流吉の覚え書』同 月 同一九四七 月 同 年

四号「資料社会運動史」同 同年三月 三号「愛知県社会運動者略伝 九五八年一月 年五

九年一月 唐沢隆三『自由律俳句史雑記』 七〇年 ソオル社、 集・やまゆり』ソオル社、一九 唐沢冨美子編『大杉くま追想 六号「資料社会運動史」 一九五 五号「資料社会運動史」同年? 一九七一年

二号「名古屋社会運動者略伝

同一九五七年九月

<東京熱い夏〉 キネマ・フェスタ『アナーキー』

-- それぞれの映画の視点から現代の深層を撃つ --(『希望と欺瞞の間に』日本語字幕化記念)

日時:7/21(土)、22(日)、28(土)、29(日)、8/4(土)、 5 (日)

場所:poetry in the kitchen

東京都文京区水道 1-2-6 タトルビル 2F JR 飯田橋駅より大曲交差点方面徒歩 10 分

タイムテーブル:

14:00 ~スペイン革命ドキュメンタリー映画 『スペインの短い夏』または『希望と欺瞞の間に』

16:00 ~ゲストトーク 16:00 ~ DVD 参考上映 入場料:1000円(資料込)

スケジュール:

(7月22日以外は日時未定です。また内容については 変更する可能性があります)

★テーマ「ゲバラ」

『スペインの短い夏』または『希望と欺瞞の間に』 ゲスト・トーク:太田昌国さん

参考上映DVD 「モーターサイクル・ダイアリーズ」(126 分)

参考上映 DVD「チェ・ゲバラ 人々のために」(89分) ★デビッド・ロービック来日記念コンサート 7月22日(日)決定

★テーマ「日本映画とアナキズム」

『スペインの短い夏』または『希望と欺瞞の間に』 ゲスト・トーク: 平沢剛さん

参考上映:未定 ★現代の運動

『スペインの短い夏』または『希望と欺瞞の間に』 ゲスト・トーク:HEX さんほか

参考上映:『関西公園~Public Blue~』(約70分) (ドイツのアンケ・ヘルマンさん制作の関西路上生活者 の記録)

参考上映:未定

★テーマ「性/別」(いわゆる「ジェンダー」) 『スペインの短い夏』または『希望と欺瞞の間に』

ゲスト・トーク:未定

参考上映:「ボーンクィア」(10分) ほか

★テーマ「映像でみる大正アナキズム」 『スペインの短い夏』または『希望と欺瞞の間に』 ゲスト・トーク:未定

参考上映:「大虐殺」(1960年、94分)

(ギロチン社登場の劇映画)

主催:キネマ・フェスタ実行委員会(暫定的)

<アナキズム文献センター、IRREGULAR RHYTHM ASYLUM> 協力:アナキズム編集委員会

文献センター

(4)

しておこう。 答えをかねて、簡潔な自己紹介を

活動を開始している。「反権力・文献センターは一九七○年にそ

なっていた文献は棚に移され、今 関する過去および現在の文献、資 つつも、センターを管理する龍武 活動の停滞と休眠状態を繰り返し と整理にも着手された。その後に、 され、合わせて資料・文献類の収集 の富士宮市に五坪余の書庫が建設 し、翌七一年に富士山の麓、静岡県 者に広く公開する」ことを目的と 料、運動紙誌を収集・整理し、その 反国家・絶対自由の思想と運動に 九五年には一〇坪余りの独立専用 完全な保存を図るとともに、利用 郎氏の持続的営為に支えられて、 庫が建設され、 山積み状態と

> 日に至っている。ここで正確な蔵 相加に整理が追いつかないからで 増加に整理が追いつかないからで ター 自己紹介とその歩み に単行 ター 自己紹介とその歩み に単行 本の蔵書目録がまとまる)。書籍に 本の蔵書目録がまとまる)。書籍に 本の蔵書目録がまとまる)。書籍に 本の成書目録がまとまる)。書籍に 本の成書目録がまとまる)。書籍に 本の成書目録がまとまる)。書籍に 本の成書目録がまとまる)。書籍に 本ので、知用に不便はな い。その他の新聞やチラシ、ビラ、 としてミニコミ類となると、十分 に整理されているとは言えないも のの、これらもかなりファイルさ れているので、箱詰めのままの資 れているので、箱詰めのままの資

を 住所:静岡県富士宮市 は置かれている。事前に連絡の上、 が家Y. H」で、その敷地内に書庫 の家Y. H」で、その敷地内に書庫 は置かれている。事前に連絡の上、

> ryo@po. shizuokanet..ne. jp ホームページ:

http://cira-japana.net/

もっともまとまったものとしてはからの個人による寄贈であり、シターに関わった人々やその周辺をが寄贈されたものである。セセンターの中身について二、三

沿って体系的に購入されたものではないので、不可欠と考えられるはないので、アナキズムをテーマにつかれるが、それでも全体として見るなら、アナキズムをテーマにっか所に収蔵されたものではないか。る蔵書はあまりないのではないか。る蔵書はあまりないのではないか。

ま少し詳しく触れておく必要があいne.jp 現することと言える。この点はいを通じて「センターの法人化」を実

約され、いくつかの活動が積み重 どが話し合われ、その後の継続さ 限の組織化が必要ではないか、な くのか、存続させるためには最小 センターを今後どのようにしてい 危機感が生じてきたことがある。 センターの存続が覚束ないという いう現実があり、現状のままでは かつ協力してきた人々の高齢化と これまで周囲にあって活動を担い、 支えてきた龍武一郎はもとより、 には、設立以来センターを地元で ンターの存続」が議論された。背景 る富士宮で集会がもたれ「文献セ の現状である。 ねられつつあるのが文献センター れた討議を通じて先述の課題に集 二〇〇五年七月にセンターのあ

れた。いずれもセンターの趣旨にさんの山鹿文庫がセンターに移さ近年では、沼津にあった山鹿泰治長谷川進さんの蔵書がある。また

(次回からは、設立までの経緯

冨

センターのために富士宮に来るつ で深夜まで続いた飲み会の席で、 ぐずぐずと一○日間程パソコン 仕事を辞めるも直ぐには動けず、 もりがある、と口にしたのが運の こもり状態になった。 ケームで一日中過ごし、プチ引き 二〇〇五年の第一回富士宮集会 〇六年三月末でそれまでの

がらセンターの作業を続けていま をつけ、 ら登録制の日雇いの仕事をしてい 何とかせねばと、何度か東京に 六月に入ってやっと踏ん切り 派遣社員として工場で働きな マンガ喫茶で寝泊りしなが 富士宮の住人となり、今

の作業に打ち込めたようで、〇六 余裕がなく、そのためかセンター 最初のうちは仕事・生活ともに

> ズを調べることにした。 理と、平井文庫のページ数とサイ 時中断してセンターの分室と化し 録登録数が二千冊となりホッとひ 年一二月末には、 寒さには勝てず、 厳禁のためストーブの使用禁止。 とだんらく。ただ、センターは火気 たアパートで、パンフレットの整 真冬の作業は一 和文単行本の目

です。 方々のご協力をお願いするところ 欧文単行本に関しては語学堪能な は五百冊ぐらいで終わりそうです。 していないが、和文単行本の残り 現在、二千三百冊とあまり進展

書目録作りや、アナキストクラブ てきた。今後も布留川信さんの蔵 理していきたいものがあると話が んからアナキストクラブとして整 クラブで知り合った戸田三三冬さ このセンターの一連の動きの中 私が二十歳の頃にアナキスト 岩佐老人の写真の整理を行っ 昨年九月から三回、 綿引さ

> た。 として続けていくことになりまし の作業をアナキストクラブの例会 遺産?の整理・保存・目録作成等

二〇年居前に龍さんが呼びかけて、 皆で楽しんだコケモモ採り、 べることにしか興味のわかない私。 山を楽しまなければ。 富士山に来たなら、 やはり富士 とはいえ食 たら

の芽の天ぷら。 去年の秋にはまずコケモモ・マ

> ぷらなどに。 チ・アイタケ・シモフリシメジ・ナ 芽やツクシを毎週採りに行って天 コ汁で楽しみました。今はたらの を塩漬けにして、キノコ飯やキノ 言う)など一○種類以上のキノコ ラタケ(この辺りではアシナガと 実酒につけ、 四月のセンターは、 アミタケ・ハナイグ 朝からキジ・

コジュケイ・ウグイスの鳴き

アナキズム文献センター収支決算報告書

(2006年7月8日~2006年12月31日)

【収入の部】

繰越金(準備会及び旧センター) 152,833 会費(1口1000円×87口(24名)) 87,000 カンパ 15, 100 合計 254, 933

【支出の部】

通信費(送料、サーバ代など) 1,655 消耗品(センターサッシ代) 9,100 その他出金 (DVD変換費用、振込手数料負担等)

18, 135 残金(次年度へ繰越し) 226,043 合計 254, 933

※カレンダー制作代金は除く

上記の通り報告いたします。

2006年12月31日 会計担当:古屋 タタビ・サルナシ等の木の実を果

○整理作業について

運営委員会議事録 抄

一月運営委員会

二〇〇六年一一月一八日

とともに送付することとした。 集の告知などとセットでニュース の協力を要請する。併せて会員募 の協力者に送り、販売・購入等で ○会員募集について 〇七年版カレンダーをこれまで

真のデジタル化を進めていく。 ○「平井文庫」について 班)でデジカメを購入したので、写 認などについて、手順書を作成す 古い写真の複写や写真内容の確 なお、デジタル部会(カメラ

ださった方へのお礼という意味で やはりインターネットに流すだけ では不十分で、蔵書を寄贈してく また、目録を少部数発行する案も。 目録データをネット公開する。

〇センターの振込口座

(郵便局口

について

○データベースについて 中である。 向け、富士宮にて順調に入力作業 近日中のサンプル目録の公開に そういう習慣をつけていく。

一二月運営委員会

二〇〇六年一二月一六日

Oデータベースについて

チェック。これでほぼ完成とな 定)、さらに紙媒体でも発行して クに現物と照合し、データを最終 化する。来年のゴールデンウィー 別々の所で入力したデータを一本 現在入力中のデータを校正、 (会員のみにするかどうかは未 その後はホームページでも公

> 当を決めた。 中央郵便局に移管する。手続き担 住所とともに口座も東京の新宿

ることとした。 住所として三月工房の住所を借り

くの花に囲まれています。作業の

うスタンスにしていく。紙の内容 希望する人には紙を郵送するとい の会員用ページ)をメインとし、 は、その発行時期までのウェブ情 季刊とし、担当を決めた。 今後は、ホームページ(その中

月運営委員会

二〇〇七年一月二〇日

報を中心とする。

に関しても、文献センターの会計 は奥沢。銀行口座も開設する。 ター」、住所は三月工房、代表者名 ○郵便振替口座の移転について ○カレンダーの会計・精算 独立会計にし、今後のイベント 口座名は「アナキズム文献セン

なりメジロやヒヨドリが蜜を吸い * に集まり、椿やヤマブキなどの多

声が響き、桜の老木が満開に

○通信(紙)について なお、当分の間は、センターの

ます。

(山田崇正)

景色を眺めながら長話をしてしま に龍さんの奥さんがいると、つい 合間に庭に出ると心が和み、そこ

い作業終了なんてこともよくあり

'06 作 年 業 モ

12 月 平山さんたちが荷造りを手伝い ホームページ上で公開。 録作成中で混乱を避けるため の分室に収まる(センターは目 宅配便にて。とりあえず富士宮 (ダンボール20余箱分)。神戸の 10月2日 平井文庫の蔵書リストを 作業スペース確保のため)。 平井文庫の本届く

11月10~12日 センター蔵書中の 外の資料数をダンボール詰め ダブリ本と (今回の) 目録対象

W明けに始めて、五、六月に制作。め、判型などの決定をしておく。G来年のカレンダーの検討を始とは独立させる。

ら。直ちにアイデア、素材・画像を集め

〇ホームページについて

レンタルサーバーの容量があと

○○MB分増設することを決定。 ○○MB分増設することを決定。

に解説 などを入れて別の映画を上決めて、最初にスペイン、次に間決めて、最初にスペイン、次に間に」の二本を中心に、ほかの商業に」の二本を中心に、ほかの商業に」の二本を中心に関する映画「スペイン革命に関する映画「ススペイン革命に関する映画「ス

二月運営委員会

映する。上映部会(仮)立ち上げ。

龍さんより事前に「アナキズム○龍さんの提案について二○○七年二月一七日

はその過程で判断していく。 を進めていき、必要のないもの等があった。現在進行中の文献整理などの取扱い」などについて提案

○アナキズム年表について○アナキズム年表について

ブックフェアには、アメリカのても参加する(ブースにて出展)。ブックフェアに文献センターとし三月に開催される米アナキスト

主要な出版社、本屋(ヨーロッパ

(八ページ参照)

天プラ。9日は清水港視察。

・ も売る予定。 からも)が参加する。カレンダー

三月運営委員会

○カレンダーについて ○カレンダーについて で。その結果を踏まえて次年度の が。その結果を踏まえて次年度の 計画を立案する。 「アナキズム誌」と共催にする。 「アナキズム誌」と共催にする。

○本家CIRAの窮状についてスイスの本家CIRAより、アスイスの本家CIRAより、アナーキーインにっぽん宛に要請文が届いた(内容は一~二ページ)。ナーと合わせてカンパ要請をしたントと合わせてカンパ要請をした

データベースの照合作業を行う。富士宮のセンターにて、現物と五月二日夜から六日午前中までのGW作業合宿(於・富士宮)

ジのグッズ 現地・山田、東京から佐藤、奥がとのグッズ 録作業のスペース確保のため)。カレンダー (30箱余)にして分室へ運ぶ(目

沢が参加

12月9日 唐沢隆三さんより資料提供の話があり、仲介していただいた白仁さんと古屋・奥沢が同行(寄贈リストは別掲)。整理(戸田三三冬宅)。富士宮から龍、山田、東京から古屋、奥ら龍、山田、東京から古屋、奥沢が参加。

' 07 年

「これは誰……?」

二○○三年の大杉展では、近端
 ボ、戦後の写真をみても、活動をず、戦後の写真をもとにした。
 がる人物が誰であるのかが分からないこと。その折は白仁成昭氏のないこと。その折は白仁成昭氏のないこと。その折は白仁成昭氏のないこと。その折は白仁成昭氏のないこと。その折は白仁成昭氏のないことなきを得たものの、考えてみると大正・昭和初期に限られてみると大正・昭和初期に限られてみると大正・昭和初期に限られている。

別掲した写真は、戸田三三冬 氏が保管している岩佐作太郎・綿 引邦農夫の写真資料からのもので ある。まずは古い集合写真の人物 を特定していこうという仕事を始 めた次第である。一段落したら、 がた次第である。一段落したら、

■データベースについて 現在使用しているデータベース 時の替え、新しく組み替えるこ 作り替え、新しく組み替えるこ とにしました。過去に作った分 とにしました。過去に作った分 とにしました。過去に作った分 とにしました。過っにでもず、この な、紙媒体以外の音声テープ、 え、紙媒体以外の音声テープ、 つのにも、対応できるようにし

KAN DE DE

物との照合をします。 時点でのデータベースの内容と実ータ入力作業をいったん中断、現ます。そこで、今までのコンピュ

情報が半減することになる。

されている。人物と人名が符合で共にした世代の多くの人々は物故

きないとなると、せっかくの写真

内文献センター場所:ふもとの家ユースホステル的な作業は三、四日の丸二日間)日時:五月二日夜~六日昼(実質いたします。

作業を手伝える方は是非、ご参

です。希望者は編集部まで。へ容詳細は不明、書籍整理中につ内容詳細は不明、書籍整理中につ内容詳細は不明、書籍整理中についます。

■年表部会報告

年表作成にあたって、「年月日、記事、出典」の明記を必須条件とすは、更なる運動史の編纂の充実が出来事の立項を目指す。その為に出来事の立項を目指す。その為に出来事の立項を目指す。その為に出来事の立項を目指す。

めていきたい。
て適宜調整をとりながら作業を進ているので、来年度版制作にむけているので、中華の場合における。

第2号アナキズム文献センター通信

連絡先/東京都新宿区新宿編 集/運営委員会 発行所/アナキズム文献センター発行所/アナキズム文献センター

● 00850-3-30010郵便振替口座

1 の 30 の 12

三月工房気付

ロ座名 A文献センターロ座名 A文献センター